

海外安全対策情報

(定期報告：平成30年4月～6月期)

1. 社会・治安情勢

(1) 当地の一般治安情勢は周辺諸国に比して安定していますが、高い失業率（60%以上）及びイエメン・ソマリア・エチオピア等からの難民を含め、貧困者も多いため油断は禁物です。特にジブチ市内の1区～7区、アルヒバ地区、アンゲラ地区及びジブチ市郊外のバルバラ地区は注意が必要です。

(2) 2014年5月、市内レストランで自爆テロが発生し、外国人を含む多数が死傷しました。ソマリアにはイスラム原理主義過激派のテロ組織であるアル・シャバーブが存在しており、ジブチはAMISOM（アフリカ連合ソマリア・ミッション）に派兵していることから、アル・シャバーブの標的となっています。特に外国人が集中するレストランやホテル、大型商店などでは細心の注意を払うよう心掛けて下さい。

(3) 紅海、バブ・エル・マンデブ海峡において、イエメン国内からのミサイル発射事案及び海賊の発生等が報告されております。右海峡の航行にあたっては、関連情報の収集に努め、十分注意してください。

(4) 地方における夜間の移動は、危険度が増すのでお止め下さい。3月上旬も夜間移動中の車両が、小銃を有する何者かに襲撃される事件が発生しています。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

邦人被害の事件の発生は認知していません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

管轄内における当該事件の発生は認知していません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件の発生は認知していません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

関連情報はありません。